



おりひがっこ

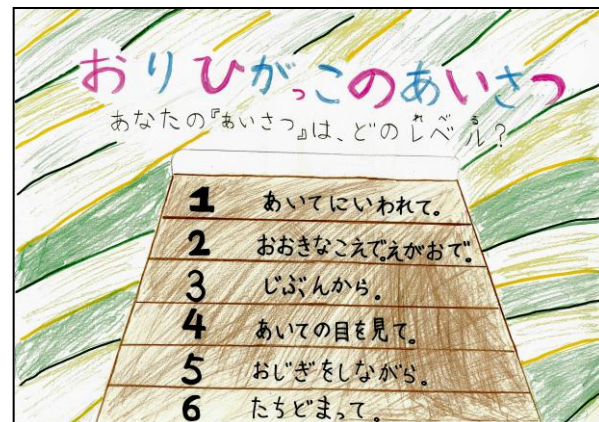
元気の花 なかよしの花 やる気の花 安全の花



力を合わせて、がんばっています。

○あいさつ運動：運営委員会（児童会）・先生

1月8日（水）始業式の後で、特別活動主任の松本先生を中心として、本校の先生方が「あいさつの仕方」について、劇をしながら、子どもたちに分かりやすく考えさせてくれました。子どもたちはお話や劇から、「あいさつ」の大切さを学んでいました。・・・それから1週間、子どもたちのあいさつがとてもよくなっています。あいさつができる子が増えていますし、立ち止まって「先生、おはようございます。」と「レベル6」のあいさつをする子がとても多くなってきました。「レベル6だね。」と声をかけるとにこにこしています。運営委員会（児童会）の子どもたちも「あいさつ運動のポスター」をつくって取り組んでくれます。めあてを決めて、自分たちで力を合わせて取り組むことは素晴らしいことです。うまくいけばよいし、いかなくてもそこで考えて工夫をしていけばよいのです。他の委員会もいろいろなことを工夫してがんばっています。これから先がとても楽しみです。



運営委員会の子ども立ちが作ったポスター



先生方の劇

☆ あいさつは、コミュニケーションの第一歩です。

「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ただいま」「さようなら」等の毎日交わすようなあいさつは、人と人をつなぐ役割を果たしています。ここでは相手の顔を見るなどし、相手を意識しながらあいさつを交わすことが大切です。さらに、会話を続けるような工夫があるとよりいいでしょう。例；「ただいま」→「おかえり。大きな声で言えたね。今日いいことがあったの?」「先生、おはようございます。」→「おはようございます。元気だね。朝ご飯は何を食べた?」

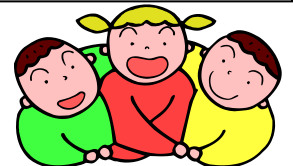
☆ あいさつは、子どもの規範意識形成の第一歩です。

「おはよう」「ありがとう」「いただきます」「ごめんなさい」等を、保護者や教師が子どもと一緒に使ってきちんと使いましょう。普段から使っているでしょうが、意識的に声を大きくしたり、使う場面を広げたりしていくのもいいでしょう。

また、言葉遣いも大人の影響を受けやすいものです。相手、時、場合などを考えて使いましょう。親しい間柄でなければ、丁寧な言葉で話すのが基本です。また、特に親しい間柄であっても、場合によっては丁寧な言葉遣いが必要なことも手本として示しましょう。

【教育力向上福岡県民運動 ワンポイント・リーフレットより】

○安全にすごすこと：6年生劇団



夏休みや冬休みなど、長いお休みの前に、生徒指導主任の西村先生が、「休みの間の安全な生活」について全校児童に指導をしています。1年生から6年生までに分かりやすく、みんなが守れるようにと、6年生の有志のみなさんが「劇」をしてくれました。内容は「いかのおすし」⇒（いか…知らない人につ

いていかない の…他人の車にのらない お…おおごえを出す す…すぐ逃げる し…何かあったらすぐ知らせる）です。

低学年の子どもたちもしっかり見て、しっかり考えていました。お話も大切です。そして、みんなの力で工夫することとてもいいことだと思います。



6年生の劇